（別紙4）　令和　5　年度

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 4372200396 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人　熊本厚生会 | | |
| 事業所名 | ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ青海苑（東館） | | |
| 所在地 | 熊本県宇城市三角町郡浦739-5 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年　12　月　25　日 | 評価結果市町村報告日 | 令和６年　3月　26日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | http://search.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/kaigosip/Top.do |

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | NPO法人　九州評価機構 |
| 所在地 | 熊本市中央区神水2丁目5番22号 |
| 訪問調査日 | 令和６年２月26日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

不知火海を一望できる静かな岬に位置していますが、集落とは離れている為できるだけ地域に出掛けるよう心がけていますがコロナの影響で苑庭散歩と必要な受診に出られる程度の外出になっています。敬老会や誕生会では入居者のお好きなメニューを中心に手作りの料理を楽しんでもらっています。裏の畑には季節の野菜をつくり、入居者の方との収穫、散歩中には野菜の成長を楽しみに話しに花が咲きます。収穫した野菜で食事に一品に添えたり季節を感じて頂けるよう取り組んでいます。入居者のペースに合わせ、入居者の発する言葉、声にならない思いをくみ取り、理解し、入居者の方の今を大切に寄り添ったケアができるようにと取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は風光明媚な岬に位置しており、四季折々の木花が入居者の生活を彩っています。事業所の裏庭には法人の手伝いもあり四季を通じ野菜が栽培され、生育を見守り、収穫を喜ぶ姿もあります。近年入居者の高齢化もありますが、比較的お元気な方も多く、野菜を刻み保存食にしたり、時には収穫したジャガイモで料理を作ったりと料理を手伝う様子も見られ、日々の散歩で暑さ寒さも感じる等、家庭での生活を思わせるような日常が営まれています。誕生日には家族から入居者宛にコメントをもらい、リクエストメニューでお祝いがされています。この数年のコロナ禍で気軽な外出が難しい中、入居者の楽しみ作りの工夫もされていました。

**Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19） | | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20） | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | ○ | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4） | | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | ○ | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12） | | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどできていない |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1 | （1） | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝スタッフと理念の唱和をし共有しながら実践に努めている。 | 毎日のスタッフ申し送りの後に当日のリーダーが理念を読み上げ、その後唱和することで職員間の共有を図っている。介護計画作成の際にも理念を念頭に置き、実践につなげている。 | |
| 2 | （2） | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | コロナの為にユニット間での行き来も控えている状況でホーム内の活動に限定されているのが実情 | 感染症対策が必要であったこの数年は入居者と地域の日常的な交流は難しい状況であったが、初詣や普段の散歩等、地域での日常生活があった。運営推進会議を機会に、法人より、地域の声を聞き運営に活かすことが大切であるとの説明を行った。 | この数年は入居者と地域の気軽な交流も難しい状況でした。今年は運営推進会議を利用し、避難訓練の見学等検討されているようです。できることからの実現に期待しています。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | コロナの影響で外部との接触を減らすような動きをしており、地域貢献といえる事ができているのか自信はない。 | | |
| 4 | （3） | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域の認知症と疑われる方の対応について話し合ったり、事業所での活動を発信し、意見交換できた。 | 毎回理事長も参加する運営推進会議には地域役員や団体からの参加があり、コロナ禍であった昨年度から今年度にかけ、地域との関わりや、地域の声を運営に活かしたいとの思いを伝えている。議事録では地域との意見交換の様子も確認できた。 | |
| 5 | （4） | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議に欠かさず出席いただいている。 | 運営推進会議には支所からの参加を頂いており、法人の思いや事業所の取組み、入居者の生活の様子等を伝えている。 | |
| 6 | （5） | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束しないケアは日常化していてホーム内は開放している。 | 資料回覧やリモート研修等で身体拘束について学ぶ機会を継続している。現在身体拘束事例はみられないが、申し送りや定期会議、日頃のケアの中で検討課題がないかの確認、気付きや対応について話す機会を持っている。センサーマットも基本的に使用しておらず、リスクとして転倒の可能性について家族にも伝えている。 | 身体拘束をしないケアが基本であり、心配される事例も現状はみられないようですが、話合いの記録も後の振返りには必要ではないでしょうか。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 相談会・勉強会で虐待が無いように徹底している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員への報告や制度についての勉強会を行なっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に十分に説明を行なっている。その他不明な点については面会時等にお尋ねいただいたり、こちらからも家族や入居者に気軽に疑問をぶつけていただけるような関係を築けるよう日頃から取り組んでいる。 | | |
| 10 | （6） | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族来苑時、面会時等に、スタッフや家族との会話の中から意見を引き出せるよう努めている。 | 面会時や電話連絡により家族の意向を確認している。半年毎のカンファレンスでは家族へも意見・要望を確認しており、必要により検討し法人への報告を行う。 | |
| 11 | （7） | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期の会議の中で職員の意見交換、勉強会を行なっている。 | 毎月の定例会議、日々の申し送りの他、日常的に管理者へ意見や提案を表すことができる。管理者は必要に応じ法人への報告を行う。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 勤務スケジュール作成前には全スタッフに希望をききできるだけ希望を受け入れたスケジュール作成を行なっている。勤務変更も支障が無い限り受け入れている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月資料回覧形式で認知症や身体拘束について学び、知識を深めてスタッフの資質向上に努めている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ブロック会に参加し情報交換に努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 実践状況 | 外部評価 次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回面談時に状況の把握を行い、入居後に関りを持ちプラン作成にも生かしている。1人1人の歴史を大切にしながら対応するように取り組んでいる。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用相談に伺ったりしてホームでの生活をイメージしやすいように努めている。面会時や入居直後の様子については電話報告を行ったりしてコミュニケーションを図るよう取り組んでいる。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族の思いに寄り添えるように、会話の中でどこに不安を感じておられるのかを察しながら、法人内のサービスも含めてニーズに合ったサービス選択・提供ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 1人1人の出来る事の継続を生活の中でできるよう取り組んでいる。できる事は一緒に行いながら役割をもって日々を過ごせるよう取り組んでいる。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 現在、面会は窓越しでの実施になっているが、聞き取りにくい際には仲介して意思疎通が図れるよう取り組んでいる。感染状況みながら対面面会も実施している。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | コロナ前には地域へ出かける機会も多く作っていたが、現状感染対策として外出を控えている。窓越しの了解を得られれば、知人でも会っていただいている。 | ここ数年は感染対策により気軽な外出が難しい状況であったが、家族との関係が疎遠にならないよう、対策を講じながらの面会受入れや家族協力による病院受診等を支援している。野菜作りに馴染みのある入居者もおられ、植え付けや収穫等も楽しみとなっている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションやおやつ作りなど一緒の時間を楽しめるように努めている。散歩や食事の時間など気の合う人や、その方のその日の状態に合わせてゲームの順番、席の配置等配慮するように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用終了後にも、地域で認知症の高齢者介護について相談を受けたり、必要な事業所への連絡等に取り組んでいる。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々関りを持ちながら本人の意向の把握に努めている。アセスメントや関りの中からの気づきを元に意向を反映した対応をできるよう取り組んでいる。 | 日々の関わりや寄り添いで入居者の意向を把握しているが、思いを表すことができる入居者も少なくなった。家族には面会や電話連絡等により確認し、カンファレンス時にも意見を聞きながら入居者本位の支援の検討を行っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前の書類だけではなく本人、家族とのコミュニケーションを図りながら対応の手掛かりになることを拭きだせるように取り組んでいる。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 関わっていく中で表情や言動など反応を見ながら生活のリズムや日課などの継続ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の意向、家族の意見も取り入れながら、担当者が中心となり希望を取り入れながらケアマネを中心にプランニングに努めている。 | 入居者担当職員により毎月の評価を行っている。半年毎のカンファレンスでは家族来訪の際に直接入居者の状況を伝え、事業所の考えや対応もあわせて説明し、意向や希望等を取入れ現状に即した介護計画を作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 入居者の言動や表情の変化など、ケアにあたる中で気づいたことを共有できるよう努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 受診等、ご家族にも協力していただきながら対応している。本人や家族とコミュニケーションを図り、状況に合わせた対応ができるよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の祭りに行ったり、保育園児、中学生などと交流の時間を作っていたが、コロナの影響で交流や地域と関わる時間を確保できないのが現状。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっており定期の受診については家族で対応されている。受診時に必要な情報については事前に準備し提供している。 | 入居以前からのかかりつけ医の継続した受診を支援しているが、現状は殆どの入居者のかかりつけ医は協力医であり、往診での診察を受けている。専門医や他科受診は家族による通院を基本としている。看護師資格を持つ職員もおり、急を要する判断等、職員・家族ともに安心感がみられる。 | |
| 31 | | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 状態変化等あれば、看護師に報告連絡し状態に応じてかかりつけ医につながるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時にはサマリー作成しこちらでの様子を情報提供している。入院中にも病院の連携室から電話にて聞き取りを行い退院後にもスムーズにホームでの生活を送れるよう準備しておく事や退院後の注意事項の確認に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 本人の状態応じて家族と今後の対応や意向について確認する機会を設けている。ホームの方針や対応について説明し看取りに取り組めるようにしている。 | 入居時に重度化や終末期に向けた方針と事業所の対応を説明している。実際にその時期を迎える際には話合いと確認を重ねる。体調変化時等には看護師を中心に医療へと繋ぎ、医師や関係機関と連携し支援に取組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 看護師に連絡相談する旨伝えている。定期的に法人内での救急蘇生法の勉強会にも参加している職員も多く対応できるようにしている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の避難訓練を行っている。 | 年2回の避難訓練後には課題を確認し、反省を共有している。結果及び課題・対策は毎月の法人の会議でも管理者より他事業所へ報告している。 | 同じ敷地に法人事業所が複数あるとはいえ、予想をはるかに超える近年の自然災害では、職員自らが災害に対応する必要もあると考えます。特に夜間想定や様々な場面を想定しての訓練の実施に期待します。 |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 実践状況 | 外部評価 次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 丁寧な言葉使い、1人1人に合わせた対応を心がけている。 | 入居者への声掛けや言葉遣い等に配慮し、入居者のペースを大切にした対応を行っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 意思表示が困難な方にも声掛けしながら、表情、仕草などから本人の思いや希望を理解できるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1人1人のペースを大切にしながら、入居者優先を心がけている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 好みや気温に合わせて衣類調整を支援している。お肌のお手入れを日課とされている方にはセッティングや自力で難しい方にはスタッフが手伝っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 好き嫌いを把握して、苦手なメニューの際には個別で違うものや形態を一人一人に合わせて提供したりして対応している。誕生日には本人に食べた地物を聞き、希望のメニューを提供すようにしている。 | 職員手作りの食事を提供しているため、体調等により個別に臨機応変に対応できる。敷地内にある法人野菜畑で収穫された旬の食材も利用している。誕生日にはリクエストメニューもある。入居者の中には野菜切り等お手伝い頂ける方もおられる。切り干し大根等、保存食も皆で作っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 1人1人の体調や好みに合わせて栄養、水分補給できるよう努めている。摂取能力に応じた形態で提供している。畑で一緒に収穫したものを食事に出したり楽しく食事摂取できるよう取り組んでいる。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後には口腔ケア実施し、口腔内の確認、出血の有無の確認を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 実践状況 | 外部評価 次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェックを活用しながら排泄パターンの把握に努め。排泄パターンの把握に努め排泄の自立に向けた支援を行っている。 | できるだけトイレでの排泄に向け、排泄の訴えがない入居者にはチェック表を確認しながら声掛け誘導等を行っている。介護度が高い方は夜間はオムツ等も使用し安眠も大切にしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分や野菜をしっかり食事でとれるよう支援している。水分はお茶以外にも本人の好みの物を提供している。ほぼ毎日体操を実施、散歩が難しい時には室内歩行など適度に運動できるよう努めている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | バイタル測定し体調見ながら入浴介助行っている。自己決定可能な方は希望に沿って実施している。拒否がある場合は時間を置いたり、日を改めたりして対応している。 | 一日おきの声掛けにより週2回以上、3回程度の入浴となるよう支援している。午前中の入浴が多いが、汚染がある際には午後にも入浴できる。片方のユニットには機械浴もあるので、身体状況により、入居者それぞれに合わせ、できるだけ浴槽を利用できるよう支援している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 天気のいい日には布団を干し、担当にて寝具の清潔を保つよう努めている。1人1人の習慣に合わせて疲労感や足の浮腫軽減の為休む時間を作っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 1人1人の状態に合わせて支援できるよう努めている。看護師を中心に状態把握に努め、その方の状態に合わせて支援できるように努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | これまで楽しまれていたことは継続できるように支援している。家族。本人とコミュニケーションを図りながら役割をもって過ごせるように支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 現状では必要な受診等に限っての外出となっている。 | 現在感染対策により、計画による外出等は難しい状況が続いているが、敷地内の散歩や畑の野菜見学、焼き芋作り等、日常生活の中で外気を感じる機会がある。通院の際には家族にも協力頂き外出している。 | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価<br>実践状況 | 外部評価<br>実践状況 | 外部評価<br>次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 出納帳を作りお小遣いを管理し、家族に報告している。買い物や外食等は現状控えている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人希望時には自宅に電話したり、家族からの電話を取り次いでいる。手紙を書かれる方にはポスト投函も散歩がてら行き、家族や知人との関係の継続に努めている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとに室内を飾り付けたり、季節の作品作りやおやつ作りに取り組んでいる。 | 飾りつけ等により季節感を感じるようにしている。入居者の席配置にはトラブル等がないよう特に配慮している。リビングでは調理の際の野菜切り等お手伝いされる姿も見られる。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 1人1人に合わせてた居場所作りに努めている。リビングで気に入った場所でくつろげるよう過ごして頂いたり気の合う方と雑談できるよう環境作りに努めている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には家族の写真や家族からのメッセージなどを張り、楽しめるようにしている。本人の状態に合わせて、ベットや家具の配置をして必要な場合には本人と相談をしながら過ごしやすい環境作りに取り組んでいる。 | 入居前からのの使い慣れた生活用品の持ち込みをお願いしている。入り口には表札があり、持ち込まれた生活用品には家族の関わりを感じることができる。各部屋に押入れがあることからすっきりと片付いている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口には表札をかけ、トイレなども表示を大きくしてわかりやすく行ける工夫をしている。本人の日々の状態を考慮しつつできるだけ自立した生活を遅れるよう取り組んでいる。 | | |

（別紙4）　　令和　5　年度

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 4372200396 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人　熊本厚生会 | | |
| 事業所名 | ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ青海苑（西館） | | |
| 所在地 | 熊本県宇城市三角町郡浦739-5 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年　12月　25　日 | 評価結果市町村報告日 | 令和5年　　月　　日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | http://search.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/kaigosip/Top.do |

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | NPO法人　九州評価機構 |
| 所在地 | 熊本市中央区神水2丁目5番22号 |
| 訪問調査日 | 令和6年　1　月　25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

不知火海を一望できる静かな岬に位置していますが、集落とは離れている為できるだけ地域に出掛けるよう心がけていますがコロナの影響で苑庭散歩と必要な受診に出られる程度の外出になっています。敬老会や誕生会では入居者のお好きなメニューを中心に手作りの料理を楽しんでもらっています。裏の畑には季節の野菜をつくり、入居者の方との収穫、散歩中には野菜の成長を楽しみに話しに花が咲きます。収穫した野菜で食事に一品に添えたり季節を感じて頂けるよう取り組んでいます。入居者のペースに合わせ、入居者の発する言葉、声にならない思いをくみ取り、理解し、入居者の方の今を大切に寄り添ったケアができるようにと取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

**Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |

| | 項　目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19） | | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20） | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | ○ | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4） | | 1. 大いに増えている |
| | | ○ | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12） | | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどできていない |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価<br>実践状況 | 外部評価<br>実践状況 | 外部評価<br>次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1 | （1） | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝スタッフと理念の唱和をし共有しながら実践に努めている。 | | |
| 2 | （2） | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | コロナの為にユニット間での行き来も控えている状況でホーム内の活動に限定されているのが実情 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | コロナの影響で外部との接触を減らすような動きをしており、地域貢献といえる事ができているのか自信はない。 | | |
| 4 | （3） | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域の認知症と疑われる方の対応について話し合ったり、事業所での活動を発信し、意見交換できた。 | | |
| 5 | （4） | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議に欠かさず出席いただいている。 | | |
| 6 | （5） | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束しないケアは日常化していてホーム内は開放している。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 相談会・勉強会で虐待が無いように徹底している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価<br>実践状況 | 外部評価<br>実践状況 | 外部評価<br>次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員への報告や制度についての勉強会を行なっている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に十分に説明を行なっている。その他不明な点については面会時等にお尋ねいただいたり、こちらからも家族や入居者に気軽に疑問をぶつけていただけるような関係を築けるよう日頃から取り組んでいる。 | | |
| 10 | （6） | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族来苑時、面会時等に、スタッフや家族との会話の中から意見を引き出せるよう努めている。 | | |
| 11 | （7） | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期の会議の中で職員の意見交換、勉強会を行なっている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 勤務スケジュール作成前には全スタッフに希望をききできるだけ希望を受け入れたスケジュール作成を行なっている。勤務変更も支障が無い限り受け入れている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月資料回覧形式で認知症や身体拘束について学び、知識を深めてスタッフの資質向上に努めている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ブロック会に参加し情報交換に努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回面談時に状況の把握を行い、入居後に関りを持ちプラン作成にも生かしている。1人1人の歴史を大切にしながら対応するように取り組んでいる。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用相談に伺ったりしてホームでの生活をイメージしやすいように努めている。面会時や入居直後の様子については電話報告を行ったりしてコミュニケーションを図るよう取り組んでいる。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族の思いに寄り添えるように、会話の中でどこに不安を感じておられるのかを察しながら、法人内のサービスも含めてニーズに合ったサービス選択・提供ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 1人1人の出来る事の継続を生活の中でできるよう取り組んでいる。できる事は一緒に行いながら役割をもって日々を過ごせるよう取り組んでいる。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 現在、面会は窓越しでの実施になっているが、聞き取りにくい際には仲介して意思疎通が図れるよう取り組んでいる。感染状況みながら対面面会も実施している。 | | |
| 20 | （8） | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | コロナ前には地域へ出かける機会も多く作っていたが、現状感染対策として外出を控えている。窓越しの了解を得られれば、知人でも会っていただいている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションやおやつ作りなど一緒の時間を楽しめるように努めている。散歩や食事の時間など気の合う人や、その方のその日の状態に合わせてゲームの順番、席の配置等配慮するように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用終了後にも、地域で認知症の高齢者介護について相談を受けたり、必要な事業所への連絡等に取り組んでいる。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 23 | （9） | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々関りを持ちながら本人の意向の把握に努めている。アセスメントや関りの中からの気づきを元に意向を反映した対応をできるよう取り組んでいる。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前の書類だけではなく本人、家族とのコミュニケーションを図りながら対応の手掛かりになることを拭きだせるように取り組んでいる。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 関わっていく中で表情や言動など反応を見ながら生活のリズムや日課などの継続ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 26 | （10） | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の意向、家族の意見も取り入れながら、担当者が中心となり希望を取り入れながらケアマネを中心にプランニングに努めている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 入居者の言動や表情の変化など、ケアにあたる中で気づいたことを共有できるよう努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 受診等、ご家族にも協力していただきながら対応している。本人や家族とコミュニケーションを図り、状況に合わせた対応ができるよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 実践状況 | 外部評価 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の祭りに行ったり、保育園児、中学生などと交流の時間を作っていたが、コロナの影響で交流や地域と関わる時間を確保できないのが現状。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族が希望するかかりつけ医となっており定期の受診については家族で対応されている。受診時に必要な情報については事前に準備し提供している。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 状態変化等あれば、看護師に報告連絡し状態に応じてかかりつけ医につながるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時にはサマリー作成しこちらでの様子を情報提供している。入院中にも病院の連携室から電話にて聞き取りを行い退院後にもスムーズにホームでの生活を送れるよう準備しておく事や退院後の注意事項の確認に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 本人の状態応じて家族と今後の対応や意向について確認する機会を設けている。ホームの方針や対応について説明し看取りに取り組めるようにしている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 看護師に連絡相談する旨伝えている。定期的に法人内での救急蘇生法の勉強会にも参加している職員も多く対応できるようにしている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の避難訓練を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 丁寧な言葉使い、1人1人に合わせた対応を心がけている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 意思表示が困難な方にも声掛けしながら、表情、仕草などから本人の思いや希望を理解できるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1人1人のペースを大切にしながら、入居者優先を心がけている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 好みや気温に合わせて衣類調整を支援している。お肌のお手入れを日課とされている方にはセッティングや自力で難しい方にはスタッフが手伝っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 好き嫌いを把握して、苦手なメニューの際には個別で違うものや形態を一人一人に合わせて提供したりして対応している。誕生日には本人に食べた地物を聞き、希望のメニューを提供すようにしている。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 1人1人の体調や好みに合わせて栄養、水分補給できるよう努めている。摂取能力に応じた形態で提供している。畑で一緒に収穫したものを食事に出したり楽しく食事摂取できるよう取り組んでいる。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後には口腔ケア実施し、口腔内の確認、出血の有無の確認を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェックを活用しながら排泄パターンの把握に努め。排泄パターンの把握に努め排泄の自立に向けた支援を行っている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分や野菜をしっかり食事でとれるよう支援している。水分はお茶以外にも本人の好みの物を提供している。ほぼ毎日体操を実施、散歩が難しい時には室内歩行など適度に運動できるよう努めている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | バイタル測定し体調見ながら入浴介助行っている。自己決定可能な方は希望に沿って実施している。拒否がある場合は時間を置いたり、日を改めたりして対応している。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 天気のいい日には布団を干し、担当にて寝具の清潔を保つよう努めている。1人1人の習慣に合わせて疲労感や足の浮腫軽減の為休む時間を作っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 1人1人の状態に合わせて支援できるよう努めている。看護師を中心に状態把握に努め、その方の状態に合わせて支援できるように努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | これまで楽しまれていたことは継続できるように支援している。家族。本人とコミュニケーションを図りながら役割をもって過ごせるように支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 現状では必要な受診等に限っての外出となっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 出納帳を作りお小遣いを管理し、家族に報告している。買い物や外食等は現状控えている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人希望時には自宅に電話したり、家族からの電話を取り次いでいる。手紙を書かれる方にはポスト投函も散歩がてら行き、家族や知人との関係の継続に努めている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとに室内を飾り付けたり、季節の作品作りやおやつ作りに取り組んでいる。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 1人1人に合わせてた居場所作りに努めている。リビングで気に入った場所でくつろげるよう過ごして頂いたり気の合う方と雑談できるよう環境作りに努めている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には家族の写真や家族からのメッセージなどを張り、楽しめるようにしている。本人の状態に合わせて、ベットや家具の配置をして必要な場合には本人と相談をしながら過ごしやすい環境作りに取り組んでいる。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室入り口には表札をかけ、トイレなども表示を大きくしてわかりやすく行ける工夫をしている。本人の日々の状態を考慮しつつできるだけ自立した生活を遅れるよう取り組んでいる。 | | |

# ２　　目　標　達　成　計　画

グループホーム青海苑

作成日　令和　６ 年　３ 月　26 日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目　　標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 35 | 避難訓練実施しているが夜間想定の回数が少ない | 夜間想定の避難訓練の実施 | 次年度に夜間想定の訓練実施を計画する | 6か月 |
| 2 | 20 | 感染症対策で面会が窓越しとなっている | 家族と触れ合える時間の確保 | 感染状況に合わせ対策を実施しながら対面での面会の再開する | 3か月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注１）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注２）項目数が足りない場合は、行を追加すること。